

日本生活支援工学会誌執筆要綱

(2003年 1月21日改訂,
2005年 8月 9日改訂)

1. 体裁

用紙はA4版とし、投稿時は自由書式とする。ただし、査読しやすいよう、文字数や図表の大きさに配慮すること。目安は40字×25行とし、字間・行間をあけて印刷する。この目安に従った場合の原稿の長さは、「学術論文」および「技術論文」がおよそ18枚以内、「視点」が8枚以内となる。いずれも著者紹介を含めた長さとする。

英文の場合は、ダブルスペースで印刷すること。

掲載決定後、以下の体裁に合わせ最終原稿を作成する。

2. 表題

和文および英文の両方を記載すること。英文表題は、主要な単語の先頭文字を大文字にする。

例) 電動車いすの開発

Development of a Powered Wheelchair

なお英文での投稿の場合は、和文表題は要しない。

3. 要旨とキーワード

「論文」については、要旨とキーワードを英文でつけること。要旨の語数は150~200語とし、キーワードは5個程度とする。

4. 本文

4.1 見出しの付け方

以下のとおりとする。

- ・章：1.、2.・・・(ゴシック体全角)
- ・節：1.1、1.2・・・(ゴシック体半角)
- ・項：1.1.1、1.1.2・・・(ゴシック体半角)
- ・目：1)、2)・・・(明朝体半角)

節、項、目は、全角スペースを1字あけて見出しを書く。英文の場合は、ゴシック体の代わりにArial系、明朝体の代わりにTimes系のフォントを使用し、上記のうち全角指定は不要とする。

4.2 文体

原則として常用漢字、新仮名遣いとし、句読点は「、」と「。」を用いる。段落の開始はスペースを1文字あける。

4.3 単位系

原則としてSI単位系を用いる。

4.4 用語

学会などで一般に用いられているものを使用する。

5. 図(写真を含む)、表

番号は、図1、表1(英文ではFig.1、Table 1)のように本文全体での通し番号をつける。番号の後にスペースを1字あけ、個々の図表のタイトルを記載する。

公正な査読のため、大きく明瞭に印刷・焼き付けたものか、電子ファイルを用意すること。

6. 引用文献

本文の引用個所の右肩に、出現順に通し番号を¹⁾、^{2,3)}、^{4~5)}のようにつけ、本文末尾に一括して記載する。

引用する文献は、一般に検索可能なものに限り、社内資料、未発表論文、カタログ等は不可とする。

文献の記載は以下のとおりとし、文献名はなるべく略さず、番号以降は段下げすること。

雑誌の場合：

引用番号) 著者名1、著者名2・・・：題目、掲載誌、巻(号)、開始ページ-終了ページ、発表年。

単行本の場合：

引用番号) 著者名1、著者名2・・・：題目、発行所、開始ページ-終了ページ、発行年。

記載例：

- 1) 藤本浩志、山内繁：新しい生活支援機器の開発、日本生活支援工学会誌、1(1)、10-20、2002。
- 2) 後藤芳一：生活支援と研究開発、〇〇出版、30-40、2002。
- 3) 斎藤正男：生活支援工学、〇〇出版、2002。
- 4) Masao SAITO：A Study of a New Assistive Device, Journal of Assistive Technology, 1(1), 10-20, 2002。

7. 著者紹介

著者の紹介は原稿の最後に氏名、略歴、所属学会など200字程度でまとめること。筆頭者は顔写真を掲載すること。共著者は任意であるが、掲載する場合は全員掲載すること。レイアウト例を参考として写真を左端に30×25mmの大きさに貼り付けること。

8. 投稿時の提出物

- ・投稿原稿正本1部、コピー2部
- ・投稿原稿を収めたディスク1枚
原稿ファイル、テキストファイル、使用した図表の電子ファイルを収め、使用した機種(Windows、Macintoshなど)、およびソフト名をラベルに記載すること。
- ・投稿票1部(会員である著者の一人が署名、捺印)

9. 掲載決定後の提出物

- ・最終原稿1部(書式体裁にあわせたもの)
- ・最終原稿を収めたディスク1枚(投稿時と同様の形式)
- ・著作権同意書1部(筆頭著者が署名、捺印)

10. 原稿の提出先

一般社団法人 日本生活支援工学会事務局
〒111-0054 東京都台東区鳥越二丁目13番8号
株式会社ライフメディコム内
TEL:03-5809-1933 FAX:03-5820-1898

※学会ホームページ <http://www.jswsat.org/journal.html> から投稿の書式テンプレートのダウンロードが可能です
ご利用下さい

日本生活支援工学会誌投稿規程

(2003年 1月21日改訂,
2005年 8月 9日改訂,
2011年 4月15日改訂,
2013年 4月25日改訂)

日本生活支援工学会では、本学会の目的に基づき、新たな研究成果の発表や会員の意見交換、本学会および関連団体からの情報提供などのため、定期的に学会誌を発行しています。学会誌への投稿は以下に示す規程に従ってください。掲載の可否は査読の結果に基づき、編集委員会の審議により決定します。

1. 投稿資格

著者のうち少なくとも一人は本学会の会員とします。

2. 原稿の種類、内容とページ数

すでに発表した文献や投稿中の文献と同一の内容の原稿の投稿はできません。また、極めて類似した内容の原稿の投稿はできません。投稿について判断に迷う場合には学会事務局まで連絡してください。

(1) 論文 (掲載時 8 ページ以内)

本学会の目的に沿う新しい研究成果を発表するものです。他で未発表であり、記述の客観性、論旨の明確性、内容の有用性と発展性の高いものとします。

論文の区分として**学術論文**と**技術論文**があります。上記に加えて、**学術論文**は創造性、新規性のあるものです。また**技術論文**は設計や開発など具体例に基づくデータや事例・資料です。投稿時に区分を選択してください。

(2) 視点 (掲載時 4 ページ以内)

本学会の目的に貢献し、広く会員全体に有益となる意見を述べたものです。内容の有用性、論旨の明確性の高いものとします。

3. ヒトを対象とした研究倫理に関して

ヒトを対象とする研究はヘルシンキ宣言を遵守し、その精神に基づいて倫理的に行われることが前提です。著者の所属機関に倫理審査委員会が設置されている場合には、委員会の承認を得た研究であることを掲載の条件とし、論文の本文にその旨を明記してください。研究終了後あるいは実験終了後に著者の所属機関において新たに倫理審査委員会が設置された場合には、研究終了後あるいは実験終了後における委員会の承認でも構いません。なお、著者の所属機関に倫理審査委員会が設置されていない場合には投稿は受けませんが、編集委員会で協議して、必要があれば著者に説明を求めることがあります。

4. 書式

用いる言語は日本語または英語に限ります。

投稿時は自由書式とします。ただし文字数や図表の大きさなど、査読を受けるにふさわしい配慮をしてください。目安はA4 版用紙に、日本語では 4 0 字× 2 5 行程度、英語ではダブルスペースです。

筆者名および所属は、本文には書かず、別途定める投稿票に記載してください。

掲載決定後は、執筆要綱に定める書式体裁に従ったカメラレディの最終原稿を速やかに提出してください。提出された最終原稿はオフセット印刷にてそのまま掲載されます。

5. 掲載料、別刷り

掲載料：30,000円 / 超過1 ページごとに10,000円

カラーページ、図版のトレースなど、印刷工程上で別途作業を伴うものは実費を請求します。

発行後、掲載誌を10部お送りします。別刷りをご希望の場合は投稿票に記載してください。

6. 著作権

本学会誌に掲載された論文などの著作権は、本学会に帰属します。ただし、第三者から引用申請があった場合など本学会が必要と認めた場合は、本学会が許諾します。

7. 投稿の手続き

(1) 投稿時

投稿原稿 (正本1部、コピー2部)、投稿原稿をおさめたディスク1枚、投稿票1部を、学会事務局あてに提出してください。

(2) 掲載決定時

最終原稿1部、最終原稿をおさめたディスク1枚、著作権同意書1部を学会事務局あてに提出してください。

日本生活支援工学会誌投稿票

題名 (和文) : _____

(英文) : _____

著者名 (必要に応じ欄を増やして下さい)

氏名 (和文) _____ 所属 (和文) _____

氏名 (英文) _____ 所属 (英文) _____

氏名 (和文) _____ 所属 (和文) _____

氏名 (英文) _____ 所属 (英文) _____

氏名 (和文) _____ 所属 (和文) _____

氏名 (英文) _____ 所属 (英文) _____

希望する形式: **学術論文・技術論文・視点** (どちらか明示して下さい)

連絡先住所 〒 _____

所属 _____

氏名 _____

電話 _____ FAX _____

電子メール _____

原稿枚数 本文 _____ 枚 図表 _____ 枚 その他 _____ 枚

別刷り 要 (50部・100部) ・ 不要 (どれか明示して下さい)

※料金: 8頁まで (50部: 10,000円, 100部: 14,000円), 12頁まで (50部: 12,000円, 100部: 18,000円)

(但しカラーページの場合には別途料金)

ヒトを対象とした研究倫理に関する確認 (当てはまるものにチェックしてください)

ヘルシンキ宣言を遵守し、その精神に基づいて倫理的に実施した はい

著者の所属機関に倫理審査委員会が設置されている はい いいえ

著者の所属機関の倫理審査委員会の承認を得て実施した はい いいえ

日本生活支援工学会誌投稿規程に従い、上記を投稿します。

年 月 日

_____ (印)

(著者のうち、本学会の会員である者が署名、捺印すること)

本票は、必要な内容が記載されていればワープロ等で作成しても構いません。ただし会員の署名・捺印は必須です。

事務局記入欄: 受付日; 年 月 日

日本生活支援工学会誌著作権同意書

題名（和文）： _____

（英文）： _____

1. 上記について、日本生活支援工学会誌投稿規程の6. 著作権の項に同意します。
2. 共著者のある場合は、著者全員を代表します。

年 月 日

_____ (印)
(筆頭著者である者が署名、捺印すること)

上側の余白は20mm

横40mm×縦10mm 空ける横40mm×縦10mm 空ける
(記事区分表示のため)

和文タイトル (ゴシック体、16 ポイント、中央揃え)

和文著者名 (ゴシック体、10 ポイント、中央揃え)

英文タイトル (Arial、16 ポイント、中央揃え)

英文著者名 (Arial、10 ポイント、中央揃え)

(1 行空ける)

幅
10
mm
あ
け
る

英文アブストラクト (Times、10 ポイント)

150~200 語

全体の文字幅から、さらに左右を10mmずつあけて、左寄せ

.....

アブストラクト終わり

(1 行空ける)

英文キーワード (Times、10 ポイント、5 個程度) アブストラクトの幅に合わせて左寄せ

(1 行空ける)

幅
10
mm
あ
け
る

左
の
余
白
は
15
mm

右
の
余
白
は
15
mm

1. 用紙の設定

サイズ：A 4 版

余白：上 20 mm、下 25 mm

左 15 mm、右 15 mm

段組：本文は 2 段組とする

段の間は、7~8 mm 空ける。

文字数：

1 ページ目：25 字×約 24 行×2 段
(約 1200 字)

2 ページ目以降：25 字×48 行×2 段
(2400 字)

(章と章の間は 1 行空ける)

2. 脚注

1 ページ目、左側の段の下端に、所属 (和文、英文) を記載する。和文フォントは明朝体、英文フォントは Times 系で 9 ポイントとする。

3. フォントの設定

3.1 本文

本文は、明朝体または Times 系 10 ポイントとする。段落の開始は、スペースを 1 字あける。

3.2 見出しの書体

英文の場合は、以下の記載における全角指定は不要。

*1 所属 (和文) 明朝体 9 ポイント

*2 所属 (和文) 明朝体 9 ポイント

*1 所属 (英文) Times 系 9 ポイント

*2 所属 (英文) Times 系 9 ポイント

3.2.1 章の見出し

章の見出しは、ゴシック体または Arial 系 10 ポイントとする。章の番号は、全角とし、スペースをあけずに続けて見出しを書く。

3.2.2 節以下の見出し

1) 節、項の見出し

節、項の見出しは、ゴシック体または Arial 系 10 ポイントとする。節、項の番号は、半角とし、全角スペースを 1 字空けてから見出しを書く。

2) 目の見出し

目の見出しは、明朝体または Times 系 10 ポイントとする。目の番号は、半角とし、全角スペースを 1 字空けてから見出しを書く。

4. 図表と数式

図表番号は、図 1、表 1 のように本文全体での通し番号をつける。番号の後にスペースを 1 字あけ、個々の図表のタイトルを記載する。

段
の
間
は
7
|
8
mm

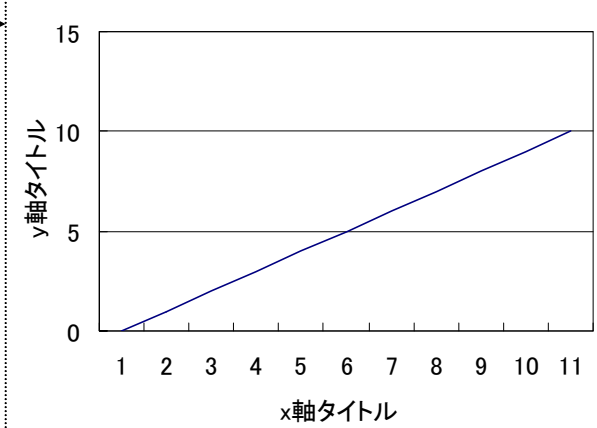


図 1 図のタイトル

下側の余白は25mm

上側の余白は20mm

表1 表のタイトル

本文中等に引用する数式には(1)、(2)のように本文全体での通し番号をつける。

$$y = ax + b \quad (1)$$

引用文献（記載例）

- 1) 藤本浩志、山内繁：新しい生活支援機器の開発、日本生活支援工学会誌、1(1)、10-20、2002.
- 2) 後藤芳一：生活支援と研究開発、〇〇出版、30-40、2002.
- 3) 斎藤正男：生活支援工学、〇〇出版、2002.
- 4) Masao SAITO: A Study of a New Assistive Device, Journal of Assistive Technology, 1(1), 10-20, 2002.

著者紹介（例）

写真 30×25mm	氏名 (Shimei) 19〇〇年〇大学大学院修了、工学博士。 19〇〇年〇大学助教授、現在に至る。〇 〇学会など会員。 (日本生活支援工学会正会員)
---------------	---